

本校の概要

1 開校の経過

六三制新教育制度は、昭和21年4月米国教育使節団の報告書が発表され、ついで新憲法の草案公開となってここにほぼ決定し、その実施は昭和22年2月26日の閣議で決定後、第92議会において予算が通過。ついで3月27日教育基本法・学校教育法の成立に及んで昭和22年4月1日より実施することに決定した。この間、当村においても、東旭川村新学制実施準備協議会がつくられ、村内3校設置並びに分校設置、校名等が定められ、本校は旭川小学校に併設、分校は旭川第五小学校・旭川第七小学校に併置することにした。校名は東旭川村立旭川中学校とした。昭和22年4月1日より旭川小学校長関田正平氏を中心に高等科担任訓導・青年学校職員が、中学校生徒たるべき者を開校まで放置するに忍びずとして、仮授業をすることとし、当初予定された小学校南側4教室をこれにあて8学級、隔日授業が行われた。昭和22年4月25日、初代校長関田正平氏発令、同年5月12日管内他町村にさきがけて開校式を行い、翌13日より、西側青年学校使用教室を整備して3教室とし、小学校よりさらに1教室を借用して8教室を整え、新制中学校としての正式授業を開始した。さらに、20日に至り教官全員発令（5月1日付け）をみ、本校8学級、桜岡分校2学級、日の出分校1学級、生徒数は本校339名、桜岡分校69名、日の出分校30名、計438名、教官13名をもって発足した。

2 校名の由来

東旭川地区は、屯田兵が入植し開拓したところである。明治20年に石狩国上川郡旭川村防風林以東字ウシシュベツ兵村を永山村に編入した。その後、明治31年に分村が行われ旭川の上に「東」の一字をつけて「東旭川村」となった。このときに、開拓当初からの公称であった旭川小学校及び旭川神社の名称は、永久に「東旭川」が称することとなった。本校は昭和22年に六・三制の教育制度が導入されたときに東旭川村立旭川中学校として開校し、今日に至っている。

3 校章の由来

図柄は、旭を象り、8本の光芒が無限に伸び、円を中心に「中」の文字を配した。旭川中学校を「旭」の光芒と「中」の文字によって象徴している。旭は、万物を育み万物に恵みを垂れる根源であり、8本の光芒は、無限の発展を意味し、生徒の健やかな成長を願っている。



4 沿革の概要

S22年	4月1日	中学校設置認可
	5月1日	初代校長 関田正平外教諭13名発令
	5月10日	学級編成認可、本校8学級、桜岡分校2学級 日の出分校1学級、生徒数439名
	5月12日	開校式、入学式、授業開始
	6月1日	父母と教師の会発足
S23年	3月15日	第1回卒業式、卒業生48名
S24年	11月25日	校舎（第1期工事）完成279坪 教室7、教材室1、使丁室、湯呑場、便所
	12月1日	本校を新校舎に移す。1年生は旧校舎
S25年	4月1日	日の出分校廃止
	10月2日	校舎（第2期工事）完成277坪 教室5、音楽室、校長室、職員室、クラブ室
S27年	8月12日	同窓会発足
S28年	10月15日	学校図書館開設
S29年	4月1日	桜岡分校独立し桜岡中学校となる。
	7月1日	校歌制定
	9月25日	屋内体育館完成219坪、校旗入魂式
S32年	11月20日	開校10周年記念式典記念事業として吹奏楽楽器購入
S36年	10月30日	校舎増築（普2、音楽室、技術室、理科室）
S38年	4月1日	生徒数677名、14学級
	8月15日	旭川市と合併 旭川市立旭川中学校と改称
S42年	10月28日	開校20周年記念式典

S43年	5月28日	給食開始	
S52年	10月8日	開校30周年記念式典	
S56年	1月15日	鉄筋コンクリート3階建新校舎落成	
	8月20日	鉄筋コンクリート平屋建体育館落成	
H4年	12月22日	多目的室、技術室、校長室、保健室、家庭科室 理科室、コンピュータ室等落成	
H5年	2月15日	音楽室、美術室、多目的教室、改修工事	
H5年	8月	プール撤去、テニスコート改修	
H13年	6月	前庭ポプラの木伐採	
H14年	10月	植樹祭（桜の苗木10本）	
	12月1日	校訓制定（創誠健和）	
H16年	9月	校舎屋根塗装・体育館屋根改修工事	
H17年	10月26日	P T A広報紙文部科学大臣賞受賞祝賀会举行	
H19年	4月1日	旭川第一中学校と統合	
	5月	社会貢献によるグラウンド整備（NIPPO）	
	10月12日	開校60周年記念式典	
H20年	2月	開校60周年記念協賛事業同窓会より寄贈ステージ幕他	
	5月23日	開校60周年記念植樹 フォレスト旭川カントリークラブより桜15本寄贈	
	11月	暖房設備更新	
H21年	2月	絵画寄贈「野島半島：終わるトド原」（小島善太郎作）	
	8月	彫塑寄贈「響(19歳の春）」（関秋宏作）	
H22年	5月11日	社会貢献によるグラウンド整備（野田建設）	
H23年	10月12日	吹奏楽「東日本学校吹奏楽大会」で金賞受賞	
	10月25日	視聴覚教育・放送教育合同全国大会会場校（理・社の授業公開）	
H25年	10月12日	吹奏楽「東日本学校吹奏楽大会」で金賞受賞	
	10月25日	視聴覚教育・放送教育合同全国大会会場校（理・社の授業公開）	
H26年	10月24日	屋体耐震改修工事完了 * 工期 6月18日～10月24日	
H27年	4月1日	旭川市小中連携教育モデル校事業指定校	
	10月1日	北海道「小中一貫推進事業」指定校	
H28年	5月3日	社会貢献によるグラウンド整備（野田建設）	
H29年	5月12日	社会貢献によるグラウンド整備（野田建設）	
	5月	旭川小改築・旭川中改修工事開始（小中一体型校舎へ）	
H30年	12月	中学校職員室の小学校舎内への移動	
R1年	1月	あさひやま学校運営協議会発足 中学校改修工事（駐輪場等 令和2年度まで）	
	R3年	10月	旭川市地域学校協働活動モデル中学校区指定
	R4年	10月8日	吹奏楽「東日本学校吹奏楽大会」で金賞受賞

5 地域の実態

本校は、屯田兵が入植し開拓した地である東旭川市街地に位置し、開校以来、歴史と伝統を大切にする地域の教育の中心として大きな役割を果たしてきている。

最近では、農業中心であった地域産業が徐々に多様化し、入植当時の子孫の方々が減少している中、旭川市の新興住宅地と隣接し道路交通網の整備や緑あふれる住宅環境のよさなどから、新しく住居を構える人々が多くなってきている。今後、この地域は、伝統を大切にする人々と新しく住民となった人々により地域の創造が展開されていくものと思われる。

また、近年は、旭山動物園人気で外からの観光客が増加し、渋滞なども見られるようになっている。

6 学級編成

全校生徒 213名

学年	1年			2年			3年			特別支援	男	女	計
性	男	女	計	男	女	計	男	女	計	せらぎ(知)	5	0	5
1組	18	13	31	18	11	29	19	20	39	そよかぜ(情)	8	3	11
2組	21	12	33	16	12	28	15	22	37	通常学級	107	90	197
計	39	25	64	34	23	57	34	42	76	全体	120	93	213

(令和5年5月1日現在)



学校経営

1 教育目標

開拓精神を受け継ぎ、輝かしい未来を築く
心身共にたくましい生徒の育成をめざして

《目指す生徒像》

- ◆ 自ら学び、知性豊かな人になろう
- ◆ 美を愛し、豊かな心を持つ人になろう
- ◆ 健康な身体を養い、実行力のある人になろう

(昭和51年4月1日制定)

2 校訓 「創誠健和」

3 めざす教育のあり方

■旭中は旭小とともに『共育』を推進します

■旭中は旭小とともに一体型校舎で『一貫・連携・協働』した教育を推進します

◎研修と児童生徒の交流、そして、「あさひやまプライドプロジェクト」を核に小中の「一貫・連携・協働」を推進します。

アフターコロナの状況等を踏まえながら柔軟に対応し、学びの保障に努めると同時に、いじめや不登校の未然防止に組織的に取り組み、子どもと向き合う時間の充実のため、より一層の働き方改革を推進します。

特に、昨年度の実践を「アップデート」しながら、学習指導要領の趣旨を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた「ジャンプ課題」を意識した「ジグソーパズル型」から「レゴ型」への授業改善に努めます。

4 年度の目標

令和5年度 旭川市教委「教育行政方針」を受けて「旭中アップデート！」

取組1「未来を生き抜く力を育む」【逆境に負けない心を育む教育を推進】

取組2「学びの環境を整える」【地域学校協働活動と一貫教育の推進】

取組3「子どもたちをともに育て豊かな学びをつくる」【振る舞い教育の推進】

⇒ 「協力」から「学び合い」にアップデート

「教え合い」や「話し合い」から「学び合い」へと変革し、学校全体に「分らない・できないと言える風土」を創り上げる

生徒が、ハッとして聞きたくなるようにする・ハッとしてみたくなるようにする・ハッとして考えてみたくなるようにする

そんな、全生徒に対する「学びの保障」と子どもと向き合う時間の確保のための「働き方改革」を両輪とし年度の重点目標に掲げ、世界で一番「優しい学校」を目指します。

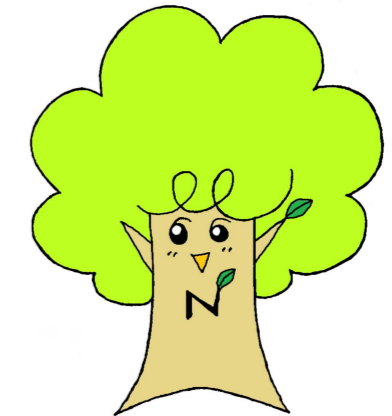
⇒ 「あきらめ」から「宝物」へアップサイクルの実現

「無理だ」とあきらめていた「実践」を新たな仕組みづくりにより実現させるアップサイクル。

令和5年度 学校要覧

校訓

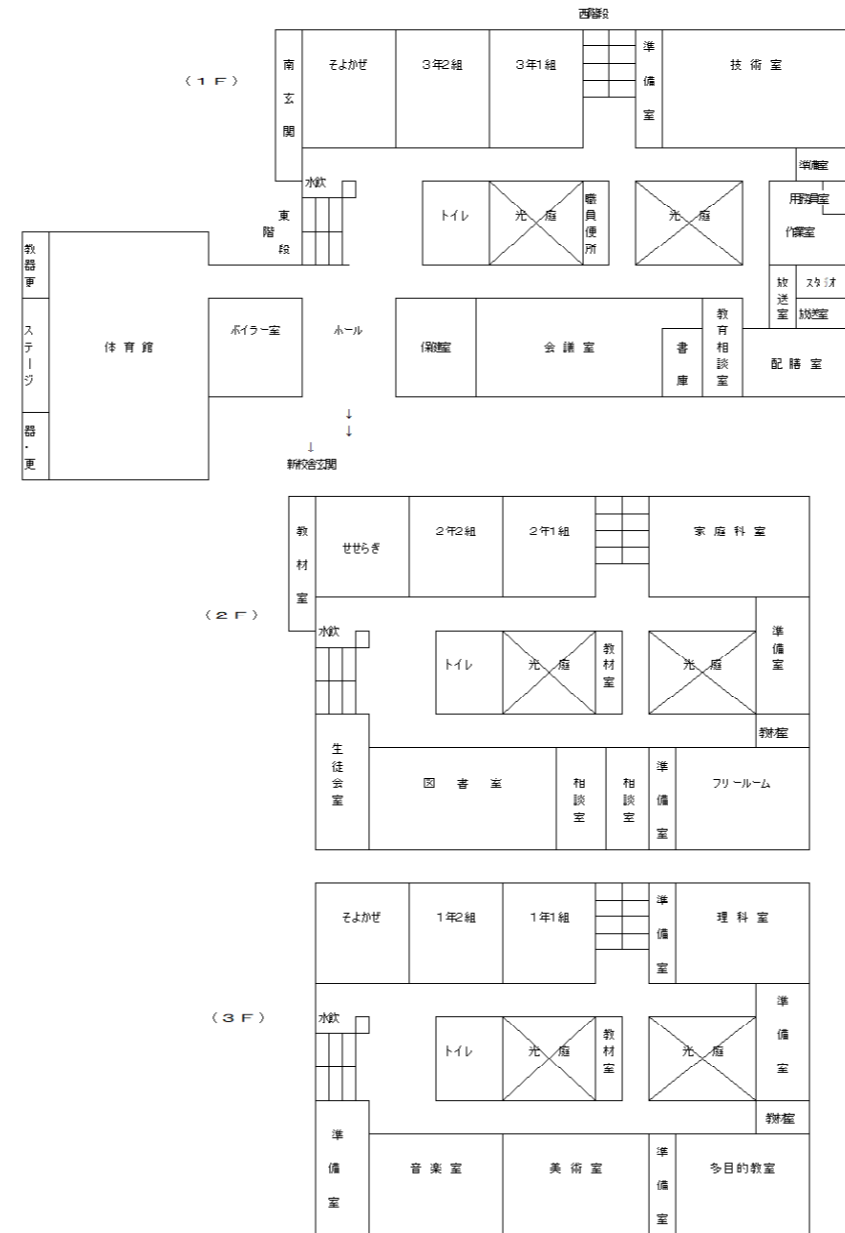
創誠健和



旭川市立旭川中学校

〒078-8261
旭川市東旭川南1条6丁目1-26
tel: 0166-36-1007 fax: 0166-36-1749
mail: postmaster@asahikawa.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp

8 校舎平面図



旭川市立
旭川中学校校歌
中田猛夫 作詞
石山美浩 作曲

一、 繞る山脈みどりに匂い
自然の恵みゆたけさ里に
国と民との栄えを希い
学びの庭にいそしみあえる
友よつとめん望みは高し

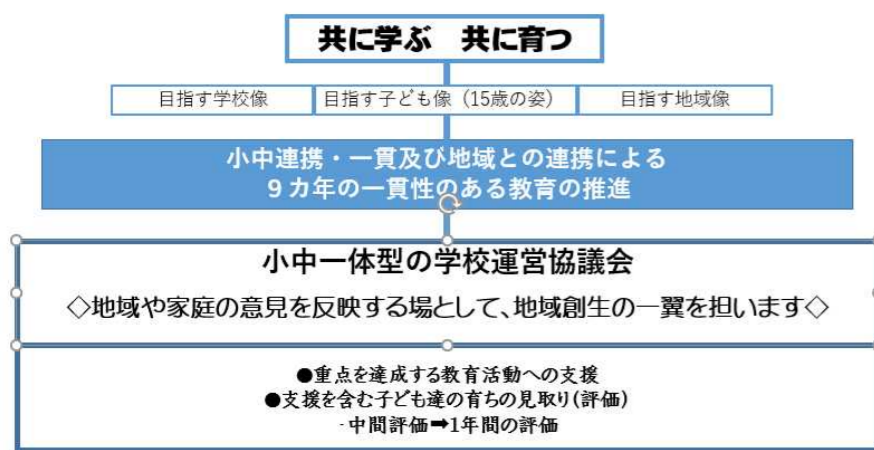
二、 流れ石狩努力の跡
高嶺旭は理想の象徴
共に榮行く世の礎と
若き生命はあけくれ燃ゆる
友よ進まん結びは堅し

三、 濃と兵とのみ祖の鉄に
拓けし伝説うけつぐわれら
真理を究め心を正し
雪に雪にむん任務は重し
友よ学ばん任務は重し

校歌について ○昭和29年7月1日制定。
○作詞は当時学校長であった中田猛夫氏。
この学校の環境の豊かさ、屯田の伝統ある地域であることをうたい、
有意な社会人となるという理想を述べ、友と相携えて力強い生徒となろう
という意がうたわれている。



7 「あさひやま学校運営協議会」



学校運営協議会と地域学校協働活動との一体的推進をめざします

